

2021年度 サビエル高等学校 学校評価書

【教育方針】

～愛と奉仕に生きる～

本校はキリスト教精神に基づいて、真・善・美を追求し、
知・情・意の調和のとれた円満な人格の育成を目指しています。
学力向上 愛と奉仕 国際交流 を通して21世紀を創る社会人を育てます。

【3つの教育目標】

I 祈る(心を育てる):祈りを通して、自分自身や他者をありのままに受け入れよう。

II 学ぶ(知性を磨く):神から与えられた能力をともに伸ばそう。

III 行動する(他者のために、他者とともに生きる):地球社会の一員として、できることから始めよう。

【スクールモットー】

For Others, With Others

～他者のために、他者とともに～

理事長



学校評価総括

●それぞれの担当部署において、目標達成のため様々な方策に取り組んだ。生徒・保護者アンケートの「知人や友人に、サビエル高校への入学を勧めたいと思う。」「この学校に入学して良かったと思う。(入学させて良かったと思う。)」という質問について、昨年に比べて、ポイントが上がったことは非常によい点である。教科、学年、分掌等それぞれで、2021年度を振り返り、以下の反省点、気づきなどを基に、改善を図りたい。

○サビエル高校の存在意義を見つめ直し、それらを踏まえ、生徒への指導を今後も継続していく。ルーブリックアンケートについて、今年度も各教科等、関連する項目のアンケートを実施した。各教科で、これらの結果を参考とし、授業を見直しを図っている。この評価を取り入れたことで、建学の理念をもとにした教育がどの程度達成できているかを検証する一助となっているので、継続して実施していく。

○学校の危機管理運営について、これまで通り運営していく。学校関係者からも出ていたが、今後は、新型コロナウイルス感染症と関わり方に変化が出てくるかもしれない。危機管理についても、新しい情報を得ながら、常に検討、改善していく必要がある。

○教職員間での効果的な協体制の構築が引き続き課題となっている。昨年度から、密を避けるため職員室を二か所に分けているが、このことで少なからずコミュニケーションが減ったように感じる教職員もいる。学校関係者の中からは、教職員間の情報共有の不足を指摘する意見もあった。今年度から、雰囲気作りの一助として、教職員の誕生日に、職員朝礼にて「ほめほめタイム」(その日が誕生日の教職員の良いところを皆で褒めるという企画)を実施した。次年度も続けていきたい。

○学校から保護者への連絡・情報提供についてはメール配信、Classiなどの利用により、大変効果があったと感じる。昨今では、教職員、保護者ともにICT機器の扱いに慣れてきており、Classiのアンケート機能などが大いに役立った。

○学校行事については、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止、規模を縮小しての実施などとなった。しかし、昨年度に比べると、例えばサビエル祭では、感染対策をした上で、模擬店を実施することもできた。修学旅行についても、昨年度は県内実施であったが、今年度は鹿児島・屋久島へ行くことができた。生徒満足度アンケートの「学校行事に満足している。」では、87%(昨年83.2%)の生徒が満足・どちらかと言えば満足していると回答した。また、学校関係者の意見でもあるように中学時代を含めて新型コロナの影響を大きく受けた生徒たちである。「新しい生活様式」を見据えながら、行事などは可能な限り、実施していきたい。また、これまでに以上に生徒に自主性を持たせ、自分たちで考えさせるような行事の進め方を推奨していきたい。

○韓国聖母女子高校との交流(6月受入、12月訪韓)や、本校企画の海外研修(2週間のアメリカ・サンディエゴ)については、今年度も中止となった。3月に海外研修の代替企画としてイングリッシュキャンプ(ネイティブの講師を本校に招き、英語で様々な体験をする企画)を実施した。留学生受入については、今年度も、アジアからの留学生6名を迎え入れることができた。これらの事業はサビエル高校ならではのものである。AFS等の留学支援団体と力を合わせ取り組んでいきたい。

○広報活動については、広報部を中心に中学校、塾への訪問、オープンスクール、学校説明会などの企画運営に力を入れた。特にオープンスクールについては、新型コロナ対策も考慮し、少人数の複数回実施とし、生徒増の一助となった。ホームページに加え、インスタグラムでも広報活動を行った。年度途中から、理事会からの支援もあり、ラジオ放送を開始している。来年度についても、複数のメディアを利用した広報活動を行ってきたい。

●学習指導に関する部分については学校の核となる部分である。学校内でのアクティブラーニング型授業、ICT機器の活用は軌道に乗りつつある。リモート授業についても、よりスムーズに実施できるようになった。台風接近時や新型コロナ対応のためのリモート授業を行った。これらの経験を活かし、次年度以降も対応していきたい。

○昨年度の授業に関する満足度アンケートの回答について、「そう思う」の低さについての指摘があった。各教科、授業の見直しなどを行い、授業改善をしているが、まだまだ足りない部分がある。今回も、生徒の理解度について、生徒がノートをとる間の時間設定などについて意見をいただいた。常に生徒に軸足を置いた改善をしていきたい。また、今年度は、授業改善のひとつとして単元テストの見直しを検討してきた。来年度は、必要に応じて小テストは行うが、中間テストを復活させる方向である。

○今年度についても、生徒の家庭学習の習慣化について、生徒満足度アンケート・保護者満足度アンケートの結果は他の項目に比べて満足度が低い。気になる点としては、生徒満足度アンケートと、保護者満足度アンケートの回答に差が見られることである。模試などを利用し、生徒の学力の伸びとの相関関係も見つつ、生徒の実態把握、意識向上に努めていきたい。

●進路指導に関する部分について、保護者、生徒アンケートともにおおむね良好な評価となっている。これらの結果が、卒業後の進路実績にも活かせるよう努力していきたい。今年度の進路実績については国公立大学12名(合格者13名)、私立大学29名、短期大学6名、専門学校5名。予備校、その他3名となった。国公立大学について言えば、13.8%の合格率である。さらに、国公立大学進学を目指す特別進学コースだけで見ると41.0%の合格率となった。また、現役で本校初の国立医学部・医学科への合格者を出した。教員からの意見や学校関係者の中から、個人ごとの進路指導記録の要望があった。来年度、検討していきたい。

○進路指導に対しても積極的にICT機器が利用できてきていると感じる。

○昨年度、新型コロナウイルスの影響のため中止とした進路行事(3月に大学講師等を招き、出前授業をしていただく)を、今年度は実施することができた。生徒にとってはとても有意義な企画なので、次年度もぜひ実施できるように努めたい。

○国立大・医学部医学科の合格は、教職員、在校生ともに、大きなはずみとなった。年度末の卒業生総括を次の学年へ活かしていきたい。

○山口東京理科大の指定校推薦枠をフル活用できるよう、早期から生徒への情報提供に力を入れていく。

●生徒指導に関する部分について、教員の生徒への関わり方については小規模校ならではの近い距離感があり、それがサビエル高校の良さの一つとなっている。しかし、今回の評価では、教員と生徒との距離感、関わり方について、考えさせられる意見があった。学校関係者からも、生徒と教員の関わり方について苦言をいただいた。また、校則に対する意識の低さについて、関係者から指摘をいただいた。何らかの形で、校則について考える場を設けたい。

部活動については様々な問題、制約もある中、運動部、文化部ともに地道に活動している。(剣道部…中国大会出場、美術部…全国総合文化祭参加・作品出品、演劇部…生徒講評部門において中国大会出場、合唱部…NHK山口県合唱コンクール出場 など)

その他、改善すべき項目は以下の通りである。

○生徒アンケートの結果からも、生徒指導面での教員間の指導の差を多少なりとも感じているようである。機会あるごとに教職員間の共通理解の徹底に努めていかなければならない。

○教員の生徒への関わり方についてはおおむね良好と言えるが、担任はその関わりが大きく、特に最近では、一人では対処が難しい場面も出てくる。学年団を中心とし、生徒支援担当、管理職が協力し対応していかなければならない。年々、生徒を取り巻く諸問題も多様化し、その関わりには特に気を配らなくてはならない。今後についても、情報共有と対応について諸会議での徹底をしていく。

○部活動に充てる時間、指導者の確保などやはり難しい面が多い。今年度は、部活動の統配合を行った。

2021年度 第2回 サビエル高等学校 教職員による学校評価

評価基準： 4…そう思う 3…どちらかといえばそう思う 2…どちらかといえばそうは思わない 1…そう思わない

意見・要望欄について

○…高評価

△…低評価、今後の課題

自己評価			学校関係者評価			
領域	評価の観点	評価	気づき等	意見・要望等	評価	
主に学校運営全般に関する事柄	1	学校は、建学の理念「愛と奉仕に生きる」のもと、教育を行っている。	3.72	今年度についても、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた1年であった。本校においても、日々の感染対策、様々な行事の企画変更などの対応を迫られた。教職員の評価、意見からもそれが感じ取れる結果となった。 1、2について …昨年とおおよそ同じポイントである。おおむね良好な結果となっている。さらなる試みとして次のような意見もあった。 ・建学の理念が教職員・生徒へ浸透するように、定期的に身近な外部講師(教会関係者・医療福祉関係者・障がい者団体等)による講演会を実施したらどうだろうか。 3について …特にメール、クラッシー、HPを利用した情報共有がスムーズに行われていると感じる。生徒、保護者とも、この項目については高評価となっている。この情報共有は危機管理面だけでなく、保護者への情報提供、いろいろな連携にも活用している。3について次のような意見も出た。 ・生徒会選挙での演説の中に「校舎内の壁の塗装を生徒の手で実施したら」という意見があった。校舎老朽化に対する対策(清掃・補修・整備)等を教職員・生徒・保護者と一丸となって実施したらどうだろうか。 4について …一昨年から、新型コロナ感染予防対策として密を避けるため、職員室を二部屋に分けている。全員が顔を合わせる機会が少なくなり、些細なコミュニケーションが少なくなったことは確かである。 教員からは次のような意見もあった。 ・難しいかもしれないが、「壁を作らない」コミュニケーションがもう少しできると良い、と思う。 ・教員が皆忙しく、教科指導などについてゆっくりと話す時間が少ない。 ・「探究活動に関連して、論理的に表現する力をつけさせる」などの統一目標を持って、各教科と学年がもっと活動できると思う。全体の取り組みとして特色になりうる。 ・行事において分掌間で連携を取りながら取り組めると、何か新しいことができるのではないかと考えた(例えば、修養会を生徒会だけで進めるのではなく、宗教部と連携して行うなど)。ただ、各分掌で仕事も多いので、なかなか他のことに手が回せないという現状でもあるようにも感じる。 5について …メールやクラッシー、HPを利用し、密な連絡を心がけているが、若干、教職員の評価が低くなっているのが気になる。連携という点から、学校行事等でのサビエル会との連携を求める意見も出た。 6、7、8について …新型コロナでなかなか思うような活動ができなかった昨年度に比べると、いろいろな制約はあったものの、実施可能な行事、また内容も増えた。教職員からは、このコロナ禍で、実施に向けてよく検討されていたという意見も出ている。生徒満足度アンケートにおける行事の項目についても、少し評価が上がっている。しかし、実際に行事を企画運営をする上で、可能か不可能かの判断であったり、内容の共通理解などで問題も出た。 6について次のような意見もあった。 新型コロナの状況もあり、生徒達がやりたいことと実現可能なこととの兼ね合いが難しい。今年は生徒から不満の声も出ていたため、なぜその案が実現できないかを実行委員と十分話し合った後、生徒達自身が熟慮して納得できるように理由を周知してはどうだろうか。一部の人のみを知っている状態だと、噂として尾ひれがつき、不満のある当事者のマイナス印象のみが独り歩きしていく気がする。 7について、評価は高くなっているが、「ボランティアの精神が生徒に十分に伝わっていなかったのが残念」という意見もあった。 8について …今年度についても、期間の縮小はあったものの、「アジアの架け橋」プロジェクトによる留学生の受け入れができたことは大きな成果だったと思う。AFSの関係者の方々も力も大きかった。2年生修学旅行についても、昨年度は県内実施となったが、希望通り鹿児島、屋久島の修学旅行を実施することができた。 9について …HPの充実、インスタグラムでの広報活動に加え、理事会の方からの援助を受け、ラジオ放送を開始するなど外部への露出度を上げている。結果として、受験生、入学増の一助となったと考える。しかし、教職員自己評価は、昨年に比べ少し下がっており、さらなる見直しが必要なかもかもしれない。これ以外に、後に残るように、学期に1回程度、学校新聞的なものを発行してはという意見もあった。	○コロナ禍において、教職員の皆様は、工夫と努力をされていると思う。生徒にとっては、やり直しのきかない高校生活なので、今後ともよろしくをお願いします。このような状況においても、サビエルの建学の理念を3年間でしっかりと教えてほしいと願っている。	3.00
	2	学校は、3つの教育目標(①祈る(心を育てる) ②学ぶ(知性を磨く) ③行動する(他者とともに、他者のために生きる))に基づいて、教育を行っている。	3.76	△2021年度はコロナ禍ということもあり、行事など規制がある中では、それなりの1年だったと思う。修学旅行についてはさすが、今の2年生は、中学3年の修学旅行にも行けず、旅先のアンケートもなく、個人的には可哀そうだと思っている。コロナ生活も、世間では、付き合っていくながらという考えに変わってきているので、再検討してもよいのではないかと？子供たちにとって一生に一度の思い出なので、臨機応変に対応していくべきだと思う。	3.00	
	3	学校は、生徒の安全確保を最優先し、危機管理を根拠とした運営を行っている。	3.59	△4について …教員間での情報の共有が不十分ではないだろうかと感じることがあった。業務の見直しと改善が必要なのではないだろうか。	3.33	
	4	教職員間(学年間・教科間・その他)の協力体制ができています。	3.10	△6について …生徒に対しての情報を出した方が風通しの良い学校となるのではないだろうか。18才で成人となるため、生徒にも、ある程度の責任感を持たせることも重要ではないだろうか。	2.67	
	5	学校は保護者への情報提供や保護者への連携を十分にしている。	3.45	3.33		
	6	各種学校行事について、充実して行われている。	3.34	2.67		
	7	学校は、ボランティア活動を通して他者のために生きる人材となるよう指導している。	3.72	3.67		
	8	学校は、国際交流活動を通して、グローバルな人材となるよう指導している。	3.69	3.67		
	9	HPなどにより、広報活動が十分に行われている。	3.59	3.00		
主に学習指導に関する事柄	10	私は、「分かりやすい・深く考える」授業を目指して、教材研究に取り組んでいる。	3.48	△授業については、本当にその時間の授業が理解できているか、ノートをとる時間を与えられているか、見直してほしい。	2.67	
	11	私は、授業の進め方を、ALなどを取り入れながら、常に工夫・改善しながら適切に行っている。	3.26	△進学は、人生の目標を達成するための手段となる。「進学」を目標とするのではなく、生徒一人ひとりの将来を考え、最適な進路を指導することが大切だと考える。だからこそ「進学」は非常に重要である。十分、検討して最適な指導をお願いします。	3.50	
	12	私は、ICT機器の特性を活かした授業を行っている。	3.22	△10について …教科の授業研究などにもっと多くの時間が費やせるように業務の見直しをした方がよい。与えられた分掌にきちんと対応されていない教員がいるのではないかと感じる。教員の主体性が欠けていると思う。一部の教員に負担がかかっているのでは？	3.67	
	13	私(各教科)は生徒や保護者が納得のいく評価基準を設定している。	3.48	3.67		
主に進路指導に関する事柄	14	私は、各学年・教科の目標達成に向けて指導法を改善したり、研究したりしている。	3.52	○進学実績は良い方向だと思う。△個人ごとの進路指導記録はぜひ、あった方がよいと思う。	2.67	
	15	LHR等を利用して計画的な進路指導がなされている。	3.41	3.33		
	16	進路指導部からの情報の提供が適切になされている。	3.57	3.00		
	17	進路に関する相談や個人指導が適切になされている。	3.56	3.00		
主に生徒指導に関する事柄	18	全教職員が同じ方針で適切な生徒指導を行っている。	3.18	△距離感について、日常を見ることができないので何とも言えないが、子供たちの中では、ひいきや扱いの違いを耳にする。人と人との関わりなので、仕方ないことかもしれないが、生徒がそういう風を感じることはないようにしていただきたい。	3.00	
	19	私は、校則を熟知しており、問題行動が発生した場合などの対処についても理解している。	2.79	△生徒と教員の距離が近い＝信頼関係が築けているのか、ということは今一度考えるべきである。近すぎてとまどう感覚がわからない。ある程度近い中にも「けじめ」は大切なのでは。	3.33	
	20	私は、授業中のみならず、学校生活においても生徒には適切な声かけを行っている。	3.11	△23項目中、一番低評であるのが、「19」である。「19」についての「気づき」が乗っていないことを鑑みても、全学的に「校則」に対する意識が欠如しているのではないかと推測する。「1」「2」の評価が高いことと整合していないのではないかと？「建学の理念」と「校則」は、サビエル学園の存在意義の根本であり、理念を実現するために生徒のとるべき行動指針が「校則」である。学校全体で考えてほしい。	3.33	
	21	学校は生徒の心身の悩みに応える体制や指導ができています。	3.39	3.33		
	22	学校は、いじめの早期発見、防止など、いじめに対する対応を十分にしている。	3.48	3.33		
	23	私は部活動の指導を十分にしている。	2.81	2.67		

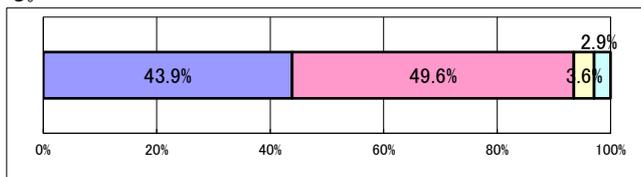
2021年度 生徒満足度アンケート(第2回) 集計結果その1

実施日:2022年3月4日

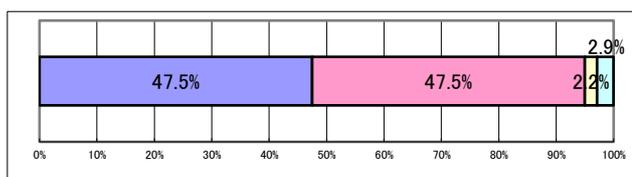
対象:生徒(全学年)

評価基準[A:そう思う B:どちらかといえばそう思う C:どちらかといえばそうは思わない D:そう思わない]

1 私は、建学の理念「愛と奉仕に生きる」を常に念頭に置いて、学校生活を送っている。 2 私は3つの教育目標〔①祈る(心を育てる) ②学ぶ(知性を磨く) ③行動する(他者とともに、他者のために生きる)〕を常に念頭に置いて、学校生活を送っている。

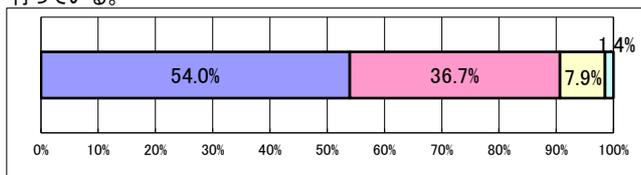


A B C D
61 69 5 4 (人)



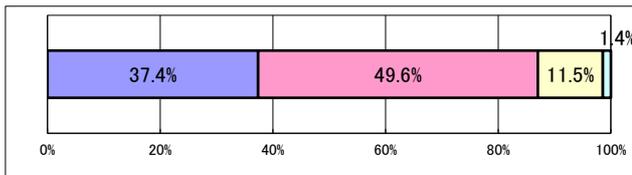
A B C D
66 66 3 4 (人)

3 学校は、生徒の安全確保を最優先し、危機管理を根拠とした運営を行っている。



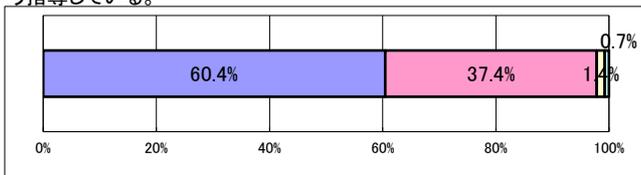
A B C D
75 51 11 2 (人)

4 学校行事に満足している。



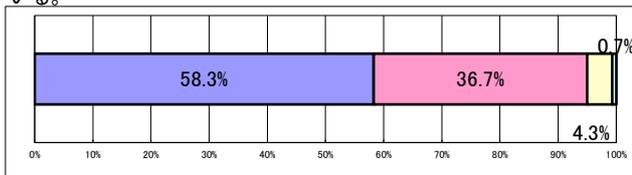
A B C D
52 69 16 2 (人)

5 学校は、ボランティア活動を通して、他者のために生きる人材となるよう指導している。



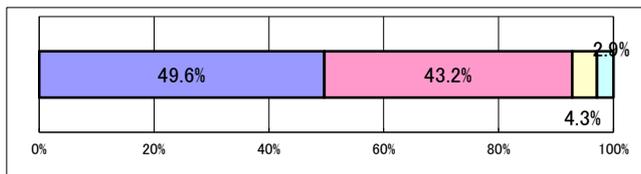
A B C D
84 52 2 1 (人)

6 学校は、国際交流活動を通して、グローバルな人材となるよう指導している。



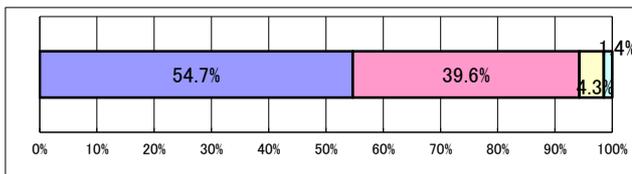
A B C D
81 51 6 1 (人)

7 先生方は興味・関心が持てる授業を行っている。



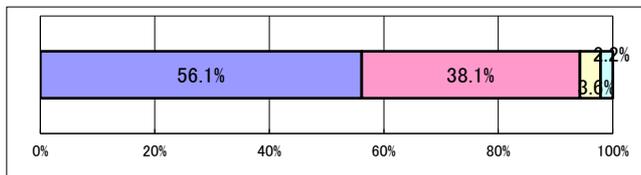
A B C D
69 60 6 4 (人)

8 先生方は熱心に解りやすい、深く考える授業を行っている。



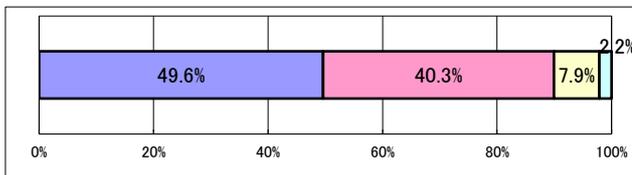
A B C D
76 55 6 2 (人)

9 私は意欲的に授業を受けている。



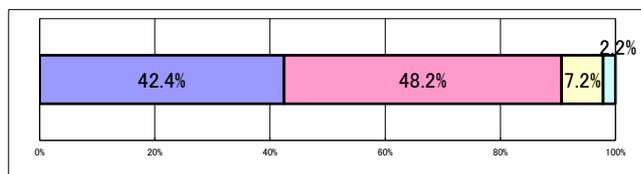
A B C D
78 53 5 3 (人)

10 私は、今の授業に満足している。



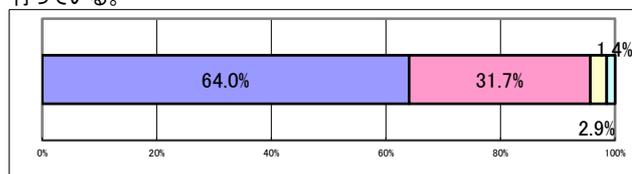
A B C D
69 56 11 3 (人)

11 私は、家庭学習の習慣が身についてきた。



A B C D
59 67 10 3 (人)

12 学校は、個別懇談等、生徒の適性や希望等を活かした進路指導を行っている。



A B C D
89 44 4 2 (人)

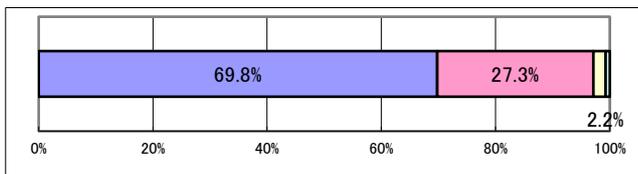
2021年度 生徒満足度アンケート(第2回) 集計結果その2

実施日: 2022年3月4日

対象: 生徒(全学年)

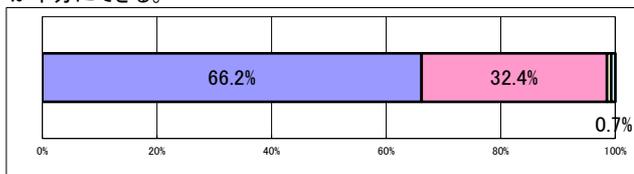
評価基準[A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそうは思わない D: そう思わない]

13 学校は、早期から進路に対する目標の意識づけを行っている。



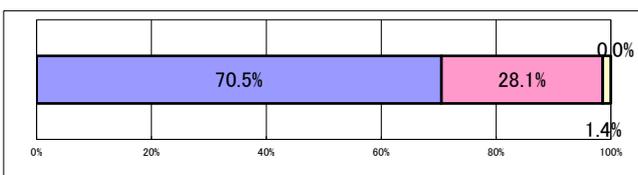
A 97 B 38 C 3 D 1 (人)

14 進路について考える際、学校内で必要な資料の閲覧、情報検索などが十分にできる。



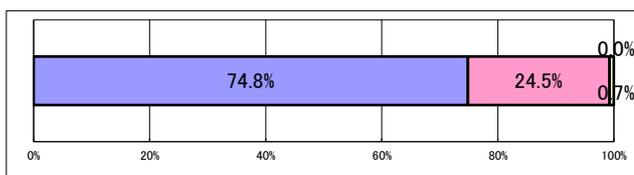
A 92 B 45 C 1 D 1 (人)

15 私は、基本的な生活マナー・交通ルールが身についてきている。



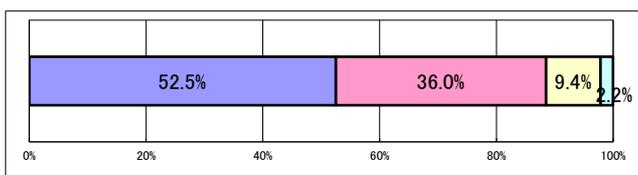
A 98 B 39 C 2 D 0 (人)

16 私は、髪型、服装などサビエルらしい身なりをしている。



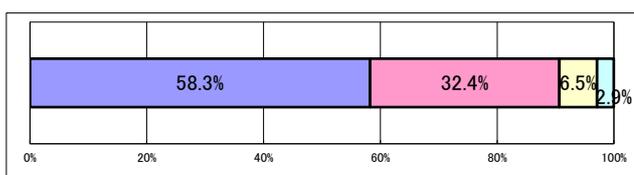
A 104 B 34 C 1 D 0 (人)

17 どの先生も同じ方針で生徒指導を行っている。



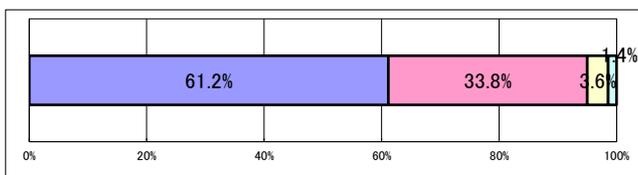
A 73 B 50 C 13 D 3 (人)

18 先生方は生徒の間違った行動に対して適切に指導している。



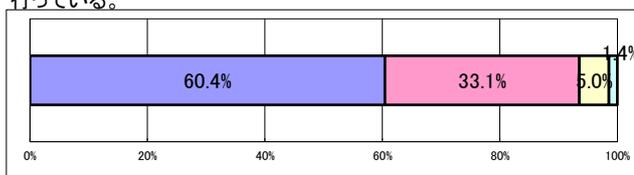
A 81 B 45 C 9 D 4 (人)

19 先生方は生徒からの相談に積極的・親身に応じている。



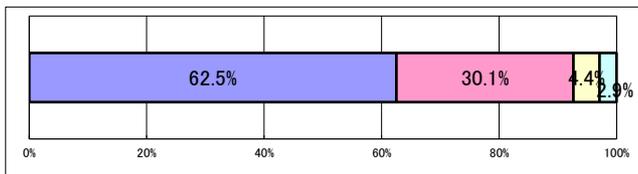
A 85 B 47 C 5 D 2 (人)

20 学校は、いじめの早期発見、防止など、いじめに対する対応を十分にしている。



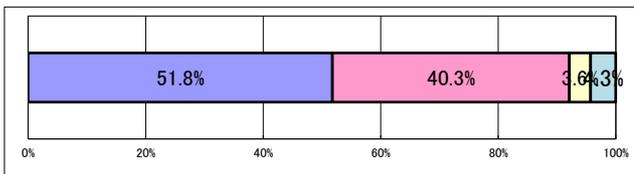
A 84 B 46 C 7 D 2 (人)

21 私が所属している部活動は、指導が十分に行われている。



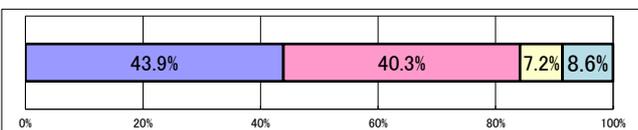
A 85 B 41 C 6 D 4 (人)

22 この学校に入学して良かったと思う。



A 72 B 56 C 5 D 6 (人)

23 知人や友人に、サビエル高校への入学を勧める。



A 61 B 56 C 10 D 12 (人)

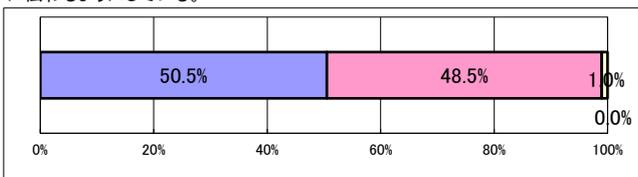
2021年度 保護者満足度アンケート(第2回) 集計結果その1

実施日:2022年3月4日～3月31日

対象:全学年保護者

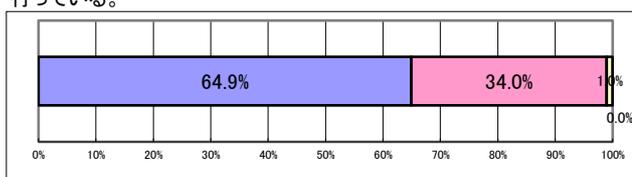
評価基準[A:そう思う B:どちらかといえばそう思う C:どちらかといえばそうは思わない D:そう思わない]

1 全校集会やホームページ等を通して建学の理念や教育方針等が生徒や保護者に伝わるようにしている。



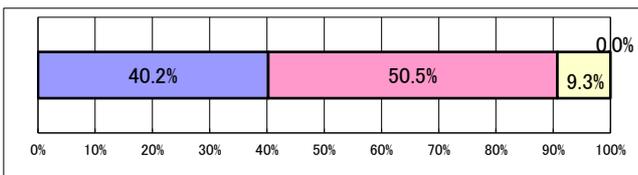
A 49 B 47 C 1 D 0 (人)

2 学校は、生徒の安全確保を最優先し、危機管理を根拠とした運営を行っている。



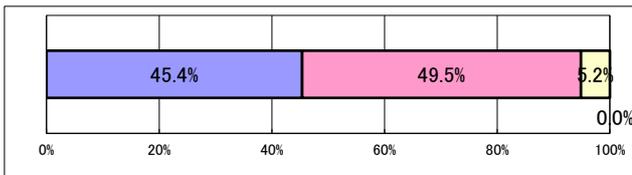
A 63 B 33 C 1 D 0 (人)

3 学校は、保護者の話や声を聞く機会を設けている。



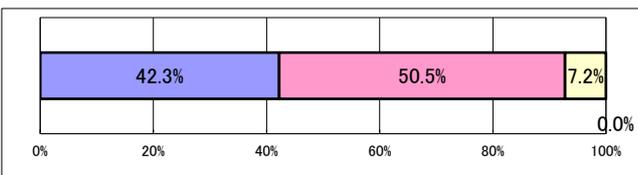
A 39 B 49 C 9 D 0 (人)

4 学校は、生徒の話や声を聞く機会を設けている。



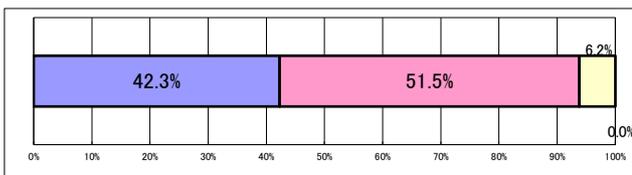
A 44 B 48 C 5 D 0 (人)

5 学校は、保護者の要望を把握し、協力して活動している。



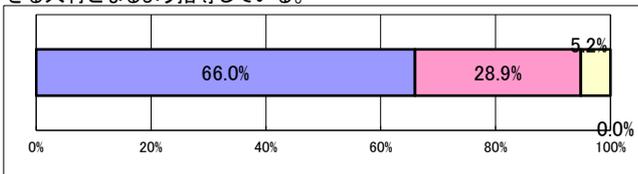
A 41 B 49 C 7 D 0 (人)

6 学校と保護者との連携がうまく取れている。



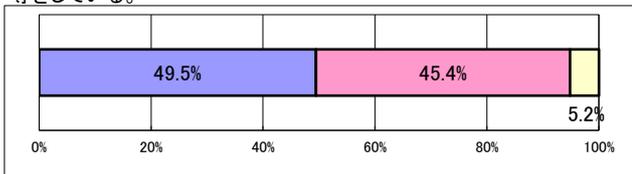
A 41 B 50 C 6 D 0 (人)

7 学校は、ボランティア活動や国際交流活動を通して、他者のために生きる人材となるよう指導している。



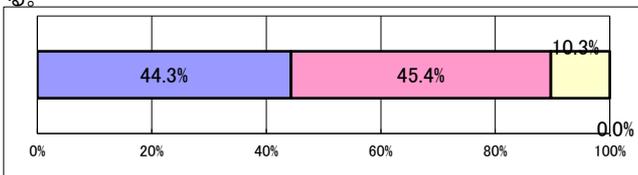
A 64 B 28 C 5 D 0 (人)

8 学校は総合的な学習の時間や学校行事等で、様々な体験ができる指導をしている。



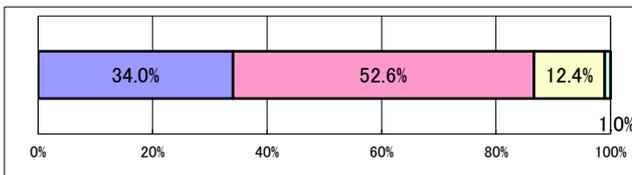
A 48 B 44 C 5 D 0 (人)

9 学校の雰囲気がよく、子どもはいきいきと楽しく学校生活を送っている。



A 43 B 44 C 10 D 0 (人)

10 学校は、生徒の興味・関心を高める授業を展開している。



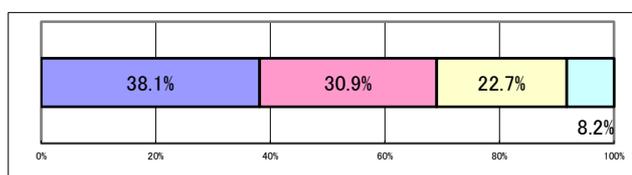
A 33 B 51 C 12 D 1 (人)

11 子どもから「全体的に授業に満足している」と聞いている。



A 25 B 56 C 16 D 0 (人)

12 子どもは、家庭学習の習慣が身についている。



A 37 B 30 C 22 D 8 (人)

2021年度 保護者満足度アンケート(第2回) 集計結果その2

実施日:2022年3月4日~3月31日

対象:全学年保護者

評価基準[A:そう思う B:どちらかといえばそう思う C:どちらかといえばそうは思わない D:そう思わない]

13 学校は、生徒の適性や希望等を生かした進路指導を行っている。



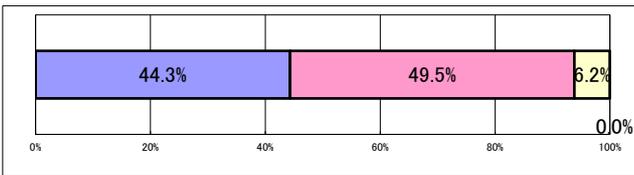
A 45 B 46 C 6 D 0 (人)

14 学校は、個別懇談等、生徒一人ひとりを大切にされた進路指導を行っている。



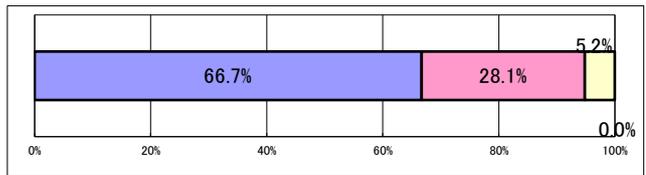
A 55 B 40 C 2 D 0 (人)

15 学校は、保護者との連携を密にした進路指導を行っている。



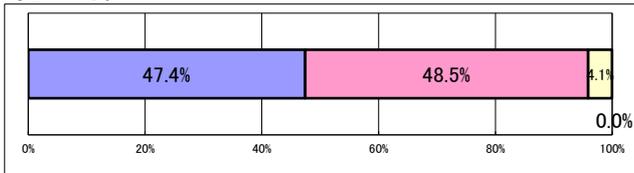
A 43 B 48 C 6 D 0 (人)

16 学校は、早期から進路に対する目標の意識づけを行っている。



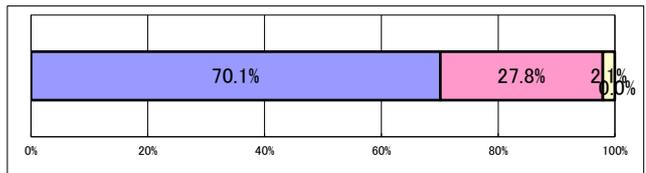
A 64 B 27 C 5 D 0 (人)

17 学校は、生徒に基本的な生活マナー・交通ルールが身につくように指導している。



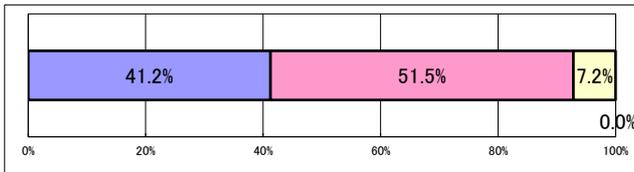
A 46 B 47 C 4 D 0 (人)

18 子どもは、髪型、服装などサビエル生らしい身なりをしている。



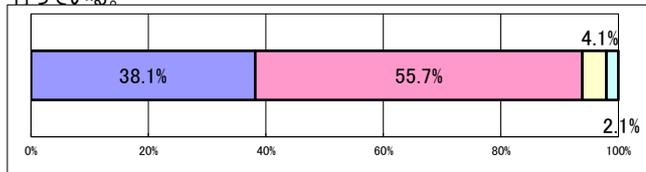
A 68 B 27 C 2 D 0 (人)

19 学校は、心身の悩みに応える指導を行っている。



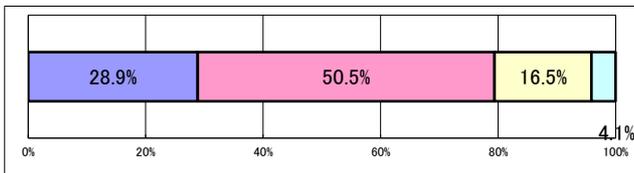
A 40 B 50 C 7 D 0 (人)

20 学校は、いじめの早期発見、防止など、いじめに対する対応を十分に行っている。



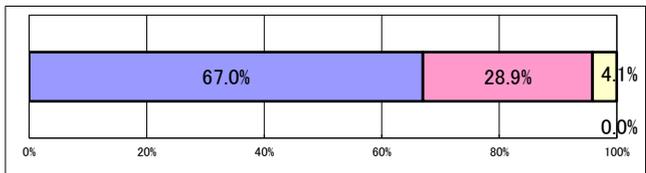
A 37 B 54 C 4 D 2 (人)

21 部活動の指導は十分に行われている。



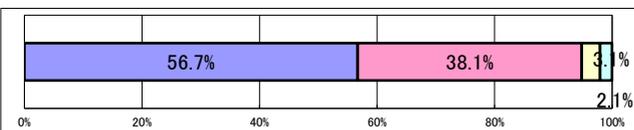
A 28 B 49 C 16 D 4 (人)

22 サビエル高校に入学させてよかったと思う。



A 65 B 28 C 4 D 0 (人)

23 知人や友人に、サビエル高校への入学を勧めたいと思う。



A 55 B 37 C 3 D 2 (人)